時事新報

改良劇場の經營は如何

今の日本の劇場は不完全なりと之を改良するには總べて西洋劇場の形に模ま雛型の天井を高くして飾附諸道具の上り下りを便にし觀客席の間取り改め又其席の體裁を整へて銘々に椅子腰掛を備へ附け雰盛の番景を活動せしめんが爲め光線の出入と自在ならしむる等の工風甚だ大切なるが故に新に改良劇場會社を創立して西洋風の新劇場を建築せざる可からずと昨年來學者社輩や仕人に所あるに付き此の如く東京の紳商連中は當時東京改良演劇會社あるものを創立するに決し其規則定款等の類も既に世に公にありたる程にして紳商連中固より資本に差支へある可らず況んや其筋の保護さへあるの可しとの噂もあれば今は只だ其建築に着手するばかりの手順に達しなるに然るに兩家共著手の沙汰もなく仕人として彼の改良演劇會社獨立の積は感じ一時限りたに茶番狂言あは非ずやと迄に疑はしむるに至らざるに我輩も竊に不審と抱く所なり蓋し我日本國の文明は無形精神的の部分に於て其進歩特に迅速なるに反して建築工業等有形實物の發達いまだに伴ふと能はざるの觀あり事の實際を觀察するに社會に諸事高遠家先づ到りて力認ふ足らず世間無數の改良家もあれば一片の想像者たるに諸するもの此ありとして智然るが如き鼠に是非もなき次第にして國用多端官民共ふ節儉を貴んで文明流の想像者を實行せんとするあるべき沮溺あるとも我輩の毎度希望する所あれども左ればとて浮世の交際には然見もあり外聞もあり事柄ふ為りては世間賀素れ空氣中にも風流装飾の趣と存せざる可らざるの場合あるときに非ず劇場改良の如即ち其一部分にして我輩は國の装飾として今日正に其必要と感じざるを得ざるあり抑も近來外交のます〳〵繁多にて日本の名の天第に世界に廣ゆるに隨ひ西洋國人の日本に來遊するもの次第〳〵に其數を増し此人々は既れも東京横浜と以て在留の殷盛景の土地柄にして風流装飾彼の人々の眼を悅ばすものとしては欠く彼の國のやんごとなき方々との來遊なるに當りては巻内端見も相濟みたる感あり扨て別に誘引場所なければ手持無沙汰の餘り先づ之を劇場なりと招待をして日本演劇の一覧と頃はいは自ら交際接待の順序あるべし國中一箇の壮觀と見做し又見做されるべき劇場を以て國中一箇の壮觀と見做し又見做されるべき劇場を以て國中一箇の壮觀と見做し又見做されるべき劇場を以て